

にいがたけん
新潟県が行っている介護人材確保のための
事業の一部をご紹介します



1 介護のお仕事職場体験

介護事業所への見学バスツアーや職場体験を通じ、職場の
雰囲気、介護職と利用者のふれあいなど現場でしか知る
ことのできない貴重な体験ができます。

連絡先 社会福祉法人 新潟県社会福祉協議会
☎025-281-5523



2 介護技術コンテスト

介護職員が日頃の業務で身に付けた介護技術を発表し、
その技術や専門性を競うことにより介護技術の向上を
図るとともに「介護の魅力」を県民に伝えるためのコンテ
ストです。普段なかなか見ることのできないプロの技術を
ご覧ください。

連絡先 公益社団法人 新潟県介護福祉士会
☎025-281-5531



出くし かいご・けんこう
福祉・介護・健康フェア内で
開催します。
ぜひお越しください!

3 介護事業所の紹介動画

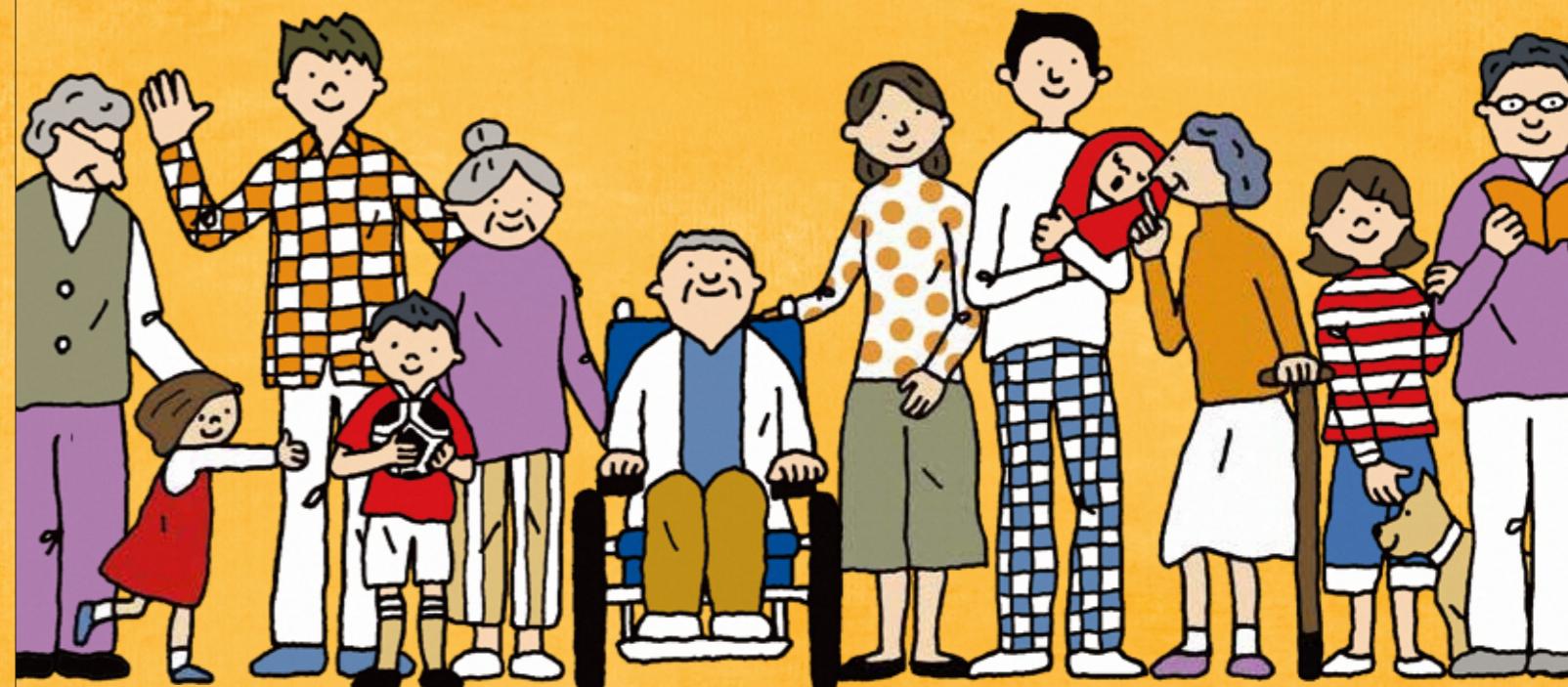
インターネットを活用して、介護の魅力や事業所の魅力を伝
える動画を制作・配信する事業の補助を令和2年度まで行い
ました。動画の一覧は新潟県介護人材マッチング支援サイト
「にいがたかいごのお仕事」で公開しておりますのでご覧ください。

連絡先 新潟県福祉保健部高齢福祉保健課 介護人材確保係
☎025-280-5272



他の情報は新潟県のホームページをご覧ください。 <https://www.pref.niigata.lg.jp>

か い ご 介 護 の お 仕 事



みんなで学ぼう、考えよう、
支え合いの社会を目指して。

●パンフレットの内容に関するお問い合わせは

公益社団法人
新潟県介護福祉士会

〒950-0994 新潟市中央区上所2丁目2番2号 新潟ユニゾンプラザ3階
TEL.025-281-5531 E-mail kaigo@sage.ocn.ne.jp
URL www.kaigo-niigata.or.jp

令和2年8月改訂

新潟県
NIIGATA PREFECTURE

公益社団法人
新潟県介護福祉士会

みんなで学ぶ「介護」のこと

「介護」っていう言葉、知ってる？

聞いたことがある人も、初めて聞いたという人も、一緒に学んで、介護のことをよく知ってね。

考え方

だれもがいつかは高齢者

みんなもいつかは大人になって、おじいさん・おばあさんになるよね。その時、今のような普通の生活ができなくなるかもしれない。だから、高齢者の暮らしをお手伝いする人が必要なんだ。だれにとっても身近なことなんだよ。

自分でできることが少なくなるのはすごく不安だ。。。もしも、年をとって介護が必要になったらどうするの？

だから専門の知識と技術を必要とする
「介護のお仕事」って大切なんだ!

そもそも「介護」ってなんだろう

学ぼう

「介護」とは、日常生活に不自由がある高齢者や障がいのある人、病気の人などの、身の回りの支援をすることを言います。思いやりや元気になってもらいたいといういたわりの気持ちがあれば、誰にでもできることです。もっと、介護のことを学んでみましょう。

高齢者の体は私たちとはちがう

年をとると、体のいろいろなところに痛みがでてきたり、筋肉が衰えたりします。具体的にはどのような変化があるのか見てみましょう。

耳が聞こえにくくなる 耳
音がぼやけて聞こえたり、とぎれて聞こえたりします。

足腰が弱くなる 足腰
筋肉が落ち、骨が弱くなります。ひざなどの関節がかたくなり、動作がゆっくりになります。小さな段差でつまずいたりすることがあります。

目が見えにくくなる 目
物がぼやけて見えたたり、視野が狭くなるので、足元が見えにくくなり物にぶつかりやすくなります。

食べる力が弱くなる 口
ものを食べるためには必要な「かむ力」や「飲み込む力」が衰えることになり、低栄養につながることもあります。

認知症とは

認知症は、いろいろな原因で脳の働きが悪くなり、日常生活に支障をきたす状態です。認知症になると、記憶力や理解力、判断力が低下します。同じものを何度も買ってたり、家の近くで迷ったり、それまで当たり前にできていたことができなくなってしまいます。しかし、認知症になると何もわからなくなるわけではありません。自分の体に起こっている変化に気づき、不安になっているのです。

新潟県の高齢化の今、将来どうなるの？

高齢者(こうれいしゃ)の割合(わりあい) (%)

年	割合 (%)
1975	10 (1/10人)
80	12
85	14
90	16
95	18
2000	22 (1/5人)
05	25
10	27
15	30
16	31 (1/3人)
20	32
25	33
30	34
35	35
40	36

2016年からは約3人に1人が65歳以上の高齢者になってしまったんだね。

出典：第7期新潟県高齢者保健福祉計画



「介護職」の お仕事ってなに?



介護職は生活を支えるプロ

病気や障がい、高齢などで介護が必要になると、ひとりの力で暮らしていくのが、難しくなります。また、家族だけで介護をすることが大変なこともあります。そんな時、頼りになるのが「介護職」です。介護職は高齢者などの生活を幸せにする職業です。なかでも「介護福祉士」の国家資格をもった介護職は専門的な知識と技術を持った介護のプロです。



高齢者などの「〇〇したい!」 という思いを大切にする

高齢者も障がいのある人も私たちのように、行きたい場所、会いたい人、食べたいものなどかなえたいことがあります。人は楽しく幸せに生きることを望んでいます。介護職は一人ひとりの「〇〇したい!」という思いを大切にして、一人ひとりの体の状態にあった支援をします。その人にあった支援をすることは、自分でできることを減らさないことにつながり、さらに、自分でできることを増やすことにもつながります。楽しく、元気にすごしてもらえるよう、さまざまな工夫を行います。

確かな知識と技術があるプロならではの仕事

安全・快適に

生活できるような介護

けがや事故がなく、安全・快適に生活できるように支援する。



自分でできることを増やすような介護

全て助けてしまわずに、自分でできることは、できるだけその人自身の力で行えるよう、考えて支援する。

国家資格

介護の国家資格「介護福祉士」

介護職は資格がなくてもつくことができる職業ですが、国家資格で「介護福祉士」という資格があります。専門的な知識と技術を学び身に付け、安全で安心な介護を提供するプロとしての国家資格です。



線つなぎドリル

楽しみなことを続けていくために あなたができること

高齢者は体が弱ってくると、普段の生活で困ることが出でてきます。
いろいろな高齢者がいるので、困ることも、支える方法もさまざまです。
さて、この4人の高齢者はどんなことをして支えてほしいと思っているでしょうか？

Aさん、Bさん、Cさん、Dさんが生活の中で
楽しみなことを続けていくためにあなたができることを考えて、

●と○を線で結んでみましょう。

Aさん

散歩が好きで、毎日、家から公園まで歩くのが楽しみ。だけど、ひざが痛くて歩くスピードがゆっくりになっている。

Bさん

足腰が弱ってきて腰が曲がっている。一人暮らしなので、週1回はスーパーへ買い物に出かける。カラオケが趣味でカラオケ教室までバスで通っている。

Cさん

歯がほとんど抜けており、入れ歯を使っている。お肉が大好物だが、入れ歯ではかみ切りにくいことが悩み。楽しみは月1回、孫とレストランに行くこと。

Dさん

近所の人たちとおしゃべりするのが元気を出す方法。だけど、耳が遠くて、会話が聞き取りづらいと感じている。

バス(や電車)で席をゆずる



食べやすいようにこまかく切る



はっきりとゆっくり話す



歩くスピードを合わせる



介護の仕事について、 知ることができたかな？

日本は、世界の中でも特に高齢者がたくさんいる国だって知ってた？

そして、これから高齢化はもっともっと進んでいくんだって。

そうしたら、介護の仕事をする人もますます必要になるし、
社会的にも、いろいろなことに取り組んでいかなければいけないんだ。

だれもが、だれかの力を借りて生きているからこそ、
みんなで支えあう介護のことを、みんなで一緒に考えていこう。



このパンフレットの感想を書いてみよう

名前

